

令和8年度千葉大学教育学部学校教員養成課程 総合型選抜 小学校コース 各面接 出題意図

選修	出題意図
国語科選修	将来小学校教員となって活躍することのできる資質と適性の有無を、面接を通して評価する。特に理解力や表現力、他者とのコミュニケーション能力、子どもを理解しようとする姿勢、また、国語科選修の学生にふさわしい国語に対する興味・関心等を問う。
社会科選修	小学校の教員を目指す上で求められる意欲や適性を探る。 また、教育や社会の諸問題への関心のほか、自らの考えを相手にわかりやすく伝える能力、協調性や社会的な責任感、そして学ぶことへの探究心や好奇心もみる。
算数科選修	将来小学校の教員になりたいという意欲をみることを意図する。 算数科教育に秀でた小学校教員にふさわしい資質と適性をみることを意図する。
理科選修	理科に精通した小学校教員としてふさわしい資質と適性を評価するため、これまでの経験や知識、および今後の活動に関する意識について問う。
教育学選修	小学校教員を志望する理由が明確であり、小学校教員として働き続けられる資質を有しているか、独自の観点から教員像や学校像等を構築できる資質を有しているかを主として判定することを基本方針として、出題する。
教育心理学選修	教育心理学を学び、小学校教育に生かそうとする意志があるかをみる。 また、小学校教師に必要な高いコミュニケーションスキルの素地があるかをみる。
技術・ものづくり選修	面接では、質疑応答を通じて、「教員を志望する強い意志」、「志望する選修への興味・関心」、「小学校教員としての資質」、「コミュニケーション能力」等をみる。